

学 会 録 事

1. 日本藻類学会第一回大会

日本藻類学会としては最初の研究発表大会が4月1日東京学芸大学を会場とし、学会会長西沢一俊、大会会長古谷庫造の下に行われた。遠く北は北海道から南は鹿児島までを網羅する全国からの会員多数の参加を得て、文字通り予期した以上の盛会裏に終ることができた。当初、研究発表22題、特別講演1題、参加申込者61名が予定されていたが、当日参加の会員が36名もあり、また懇親会にも、当初の参加予定者45名に加えて、当日申込者が18名もあったという事実がこの大会の盛り上がりと大きな成功を物語っている。また上掲のように桜花を背景に記念撮影も行った。当日は快晴に恵れ、学会として独自の大会を持つことの当初の目的であった“学会活動の充実”の充実という面でも十分にその目的を達し得たものと思われる。これもひとえに、参加された会員の方々、および開催校である東京学芸大学当局の多大の尽力によるものであり、ここに深く感謝申し上げたい。なお、特別講演を快くお引受け下さった東大海洋研・藤田善彦氏および、当日会の進行に関して、会場・受付・案内・接待などを受持ち影の力添えをいただいた、会員外の東学大植物学関係教官、武田幸作・犀川政稔・片山舒康の諸氏、およびアルバイトをお願いした多数の学生諸君には特に厚く御礼申し上げる次第である。

2. 評議員会・編集委員会・合同会議

4月1日日本藻類学会第1回大会が行なわれたのを機会に、正午より約1時間評議員会編集委員会合同会議が行なわれた。

(1) 庶務関係報告

(i) 会員名簿作成について。氏名のローマ字綴り、所属先・自宅住所、電話番号の他、専門分野も入れ、地区別（雑誌発送先）、五十音順とする。約34頁になる予定。

(ii) 山田幸男博士追悼号刊行事業の経過報告。黒木委員長より投稿論文49篇（和文24、欧文25）の編集を終り、印刷所に送稿した。印刷所仕上り約400頁の予定。事業経費の募金は3月現在183件（約176万円）であるが、これでは不足するので6月に再度募金の要請求を会員諸氏に発送する予定。などについて報告があった。また、追悼号の題名（和文と欧文）について委員会案が提示され審議されたが、更に検討し、実行委員会と学会役員とで協議し決定することになった。

(2) 審議事項

(i) 第1回大会運営補助金の支出について。大会参加費1000円では大会の運営がむずかしいので、プログラム、要旨は全会員に配布するものでもあり、学会会計から補助金を支出していただき、これに賛助寄付金を加えて大会を運営することとし、今年度は6万円の支出が承認された。（この補助金の支出については52年度総会で承認を得る）

(ii) 53年度日本藻類学会第2回大会について。今年度第1回は思ったより盛会であったので、53年度春季大会も今回と同じく東京学芸大学で行なうことになった。

(iii) 日本植物学会52年度大会（福岡）でのシンポジウムの件。これには、培養による藻類の研究・培養による形態形成の研究・培養による種の分化の解析などの題目で参加する。また、藻類学会だけでなく、現植物分類学会評議員の小林弘氏（藻類関係の代表）が世話役となり、コケ・地衣関係者とも連絡をとって詳細について決定することが承認された。

(iv) 国際植物命名規約についての小委員会について。植物分類学会評議員会から命名規約の普及徹底を計るために藻類学会からも1人小委員を出すことが依頼されたが、これには小林弘氏が窓口となり、審議事項について必要に応じて本学会に報告することが了承された。

(v) 学会誌について。今後は学会活動の充実の一環として、英文論文の投稿を主とし、活発な論文投稿を評議員と編集委員から積極的に会員諸氏へ働きかけること、および同時に、各委員が責任をもって総説論文掲載についても努力することが申し合わされた。なお53年度から版を一廻り大きく（B5版）する予定であることもふまえ、雑誌「藻類」の副題（文献引用のための略称）についても審議されたが、これは従来通りとすることに決定した。

(3) 日本学術会議会員選挙について

日本学術会議第11期会員の選挙が本年11月に行われます。日本藻類学会は52年6月17日、持廻り評議員会を開き、候補者（第四部・全国区）として、今堀宏三氏（阪大・教養・生物）を推薦することに致しました。

(4) 「山田幸男博士追悼号」発刊迫る

会員および、その他の方々のご協力により、論文50篇（英文25、和文25）が寄せられ、先生の遺影、経歴および業績一覧、追悼文と共に、現在印刷中です。総頁約400頁で予定通り本年8月に刊行されます。

出版費の募金の締切りは6月30日でしたが、まだの方はこれからでもお申し出下さい。2口（5000円）以上、お寄せいただいた方には、本冊をお送りします。

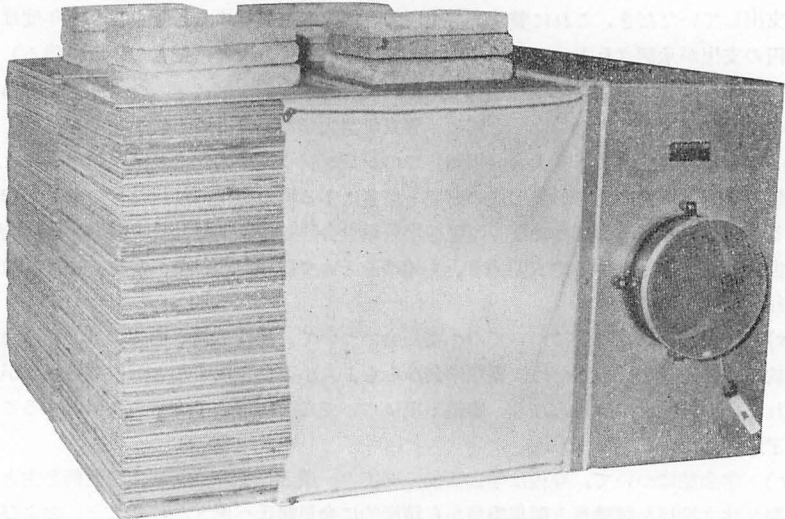
山田幸男先生追悼号刊行実行委員会

（札幌市北区北10条西8丁目・北大・理・植物、振替口座・小樽 14278）

海藻標本乾燥器（永田式植物標本製作器 301）

¥ 85,000（送料共） 金属部サイズ 50×80×30 cm

生の海藻を吸取紙で半日脱水後、本器で乾燥すると100枚以上の標本が1～2日で出来上ります。



発売元 〒410-21 静岡県田方郡菰山町四日町 227-1

永田克己 電話 <05594> 8-0628

振替口座 東京 7-181622

永田克己

取引銀行 駿河銀行伊豆長岡支店 普通預金 No. 556025 永田克己